

学びの選択

Selection of Learning 中学受験編

インタビュー

AERAムック編集部次長
大学ランキング編集長

鈴木 顕



仏教の教えに基づく心の教育と、高い医学部進学率で知られる四天王寺高等学校・四天王寺中学校。
「本物にふれる」体験を重視する個性豊かな学校を、AERAムック編集部の鈴木顕・大学ランキング編集長が訪ねた。

令和元年
6月15日(土)
朝日新聞広告特集
より抜粋

四天王寺高等学校・四天王寺中学校

仏教に根ざした 女子が伸びる教育

稲葉良一校長



いなば・りょういち / 1952年大阪に生まれる
早稲田大学教育学部卒。千葉の私立女子高等学校・中学校
を経て1989年、四天王寺高校・中学校に理科(物理科)教員
として奉職2016年中学校教頭を経て、17年より校長を務める。

鈴木 四天王寺中高は、お寺の境内の中にある全国的にも珍しい学校です。ルーツをたどれば聖徳太子に行き着くという歴史ある学校ですね。
稲葉 そうです。推古天皇元年に四天王寺が創建された時、太子様は「四箇院」という四つの施設を作りました。このうち「敬田院」は、僧侶に仏教の教えを与えるための教育機関です。太子様の没後1300年にあたる1922年、敬田

院の精神を具現化した学校を作ろうと、当時の吉田源應大僧正が私財をなげうち設立したのが、本校の前身である天王寺高等女学校です。
鈴木 女子の教育にあたって特に重視していること、工夫していることはありますか。
稲葉 男女平等というモラルの話ではなく、身体的・生理的な面でいえば性差というのはやはりあります。たとえば脳のどの部分が活発に働きやす

いか、精神面でどのような部分が早く成熟するか、といったことです。それを踏まえて教育するかどうかで、成果は大きく変わります。
鈴木 四天王寺中高ではその点で十分に成果が上がっているということですか。
稲葉 そうですね、一般に女子は理数系科目に弱いイメージがありますが、本校では7割が理系進学です。男子と女子では理解のプロセスが違うという最近の研究もあり、やはり女子には女子の特性に合わせた教育を行うべきだろうと思います。

非常に高いのも、そうした教育によるものでしょうか。
稲葉 それもありますが、医師というのは困っている人、弱っている人を助けることのできる職業ですので、そのことに意義を見いだしてくれているのではないかと思います。
鈴木 その他に教育の特色があれば教えてください。
稲葉 本校では英語教育にも力を入れており、海外語学研修や春・夏休みに校内で開講する英語集中講座、ハーバード大学の学生を招いて行うアクティブラーニングの「SLICEプログラム」などに特徴があります。大切なのは、単に会話のスキルを磨くことなく異文化理解につなげることで、できるだけ「本物にふれる」体験を私たちは大切にしています。



生徒たちを見守る慈母観音像の前で

鈴木 生身の人間と接する医師という職業をめざす生徒たちにとって、そうした機会は大いに役立ついるだろうと思います。貴重なお話をありがとうございます。

本物にふれる教育とは